



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社KADOKAWA

コード番号 9477 URL <http://www.kadokawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 辰男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部副統括本部長 (氏名) 渡辺 彰

TEL 03-3238-8561

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	35,775	△10.6	1,941	△18.6	2,310	△14.9	1,031	△13.9
25年3月期第1四半期	40,022	13.8	2,384	△18.2	2,715	△12.8	1,198	△52.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,727百万円 (147.4%) 25年3月期第1四半期 1,506百万円 (△40.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	39.63	34.75
25年3月期第1四半期	46.29	40.88

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	139,204		90,768			64.3
25年3月期	139,898		87,545			61.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 89,560百万円 25年3月期 86,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため、記載しておりません。なお、当該理由等は、添付資料3ページに記載の「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	27,260,800 株	25年3月期	27,260,800 株
26年3月期1Q	1,113,298 株	25年3月期	1,377,474 株
26年3月期1Q	26,042,067 株	25年3月期1Q	25,883,342 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の是正や株高が進行し、景気回復への期待感から消費マインドも改善するなど、明るさが見えてまいりました。また、スマートフォンの普及や電子書籍市場の本格的な立ち上がりで、あらゆるコンテンツをデジタル化しユーザーに届ける国内インフラが整い、コンテンツホルダーが新たなビジネスを拡大できる可能性が高まっています。

こうした環境下、当社グループは出版事業を核に、あらゆるコンテンツ領域をカバーするメガコンテンツ・パブリッシャーを標榜し、新たなサービスへの挑戦と事業構造改革を進めております。

書籍関連では、メディアミックス作品の拡販、新規ジャンルの開拓、既存メディアに留まらない新たな才能の発掘などを進め、堅調な売上を継続させております。

雑誌・広告関連では、固定費の削減や不採算部門の整理を進める一方、急速に普及しているスマートフォン向け新サービスの開発や、平成25年3月に株式会社ダウンゴとの合弁会社として発足した株式会社スマイルエッジによって、ネット上の新たな広告ビジネスへの取り組みを始めております。

映像関連では、平成25年3月にシネコン事業を売却し経営資源をコンテンツ制作にシフトさせ、継続的、安定的な事業運営を行っていきけるよう努めております。

ネット・デジタル関連では、電子書籍への取り組みを加速させ、紙の書籍との同時発売比率のアップや積極的なキャンペーン展開によって売上高をさらに伸ばしております。またBOOK☆WALKERにおいては、さらに作品をご提供いただける出版社数が増え、業界インフラとしての地位を固めております。

海外関連では、台湾における出版事業が堅調に推移し、香港のエンタテインメント事業も堅調に推移しておりますが、今後の新たな海外事業を拡大するため、連結子会社の売却を決議しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高357億75百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益19億41百万円（前年同期比18.6%減）、経常利益23億10百万円（前年同期比14.9%減）、四半期純利益10億31百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

なお、セグメント情報との関連は、単一セグメントであるため記載を省略しております。

各ジャンルにおける売上貢献作品は次のとおりであります。

(単行本)

「高校入試」湊かなえ（角川書店）

「続・世界のなめこ図鑑」（エンターブレイン）

「なるだけ医者に頼らず生きるために私が実践している100の習慣」五木寛之（中経出版）

「大泉エッセイ ー僕が綴った16年」大泉洋（メディアファクトリー）

(文庫)

「県庁おもてなし課」有川浩、「あんじゅう 三島屋変調百物語事続」宮部みゆき（角川書店）

(ライトノベル)

「ソードアート・オンライン」川原礫、「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」伏見つかさ（アスキー・メディアワークス）

「カゲロウデイズ」じん（自然の敵P）（エンターブレイン）

(コミックス)

「デッドマン・ワンダーランド」片岡人生／近藤一馬（角川書店）

「テルマエ・ロマエ」ヤマザキマリ、「坂本ですが？」佐野菜見（エンターブレイン）

「となりの関くん」森繁拓真（メディアファクトリー）

(劇場映画)

「ライジング・ドラゴン」「劇場版 STEINS ; GATE 負荷領域のデジャヴ」（角川書店）

(DVD、Blu-ray)

「トワイライト・サーガ／ブレキング・ドーン Part 2」「デート・ア・ライブ」（角川書店）

「鍵泥棒のメソッド」「さくら荘のペットな彼女」（メディアファクトリー）

(ゲーム)

PSP「境界線のホライズンPORTABLE」（アスキー・メディアワークス）

PS Vita「フォトカノKiss」（エンターブレイン）

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前期末に比べて6億94百万円減少し、1,392億4百万円となりました。現金及び預金並びに投資有価証券が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少しました。

負債は、前期末に比べて39億17百万円減少し、484億36百万円となりました。支払手形及び買掛金が減少したことに加えて、賞与の支給により賞与引当金が減少しました。

純資産は、前期末に比べて32億22百万円増加し、907億68百万円となりました。その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定が増加したことに加えて、自己株式が減少し、いずれも純資産の増加要因となりました。

自己資本比率は、期首に比べて2.6ポイント上がり、64.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く市場環境は、出版、映像ともに厳しい環境にあり、極めて流動的に変移しておりますが、その中において、当社グループは常に成長を志向し、また、継続的な新規事業への挑戦によって、市場や顧客のニーズに応えるコンテンツを創出してまいります。

当社グループは、出版と映像の相乗効果で製品付加価値の向上を図るとともに、電子書籍やネット事業等への展開で新たな商品・サービスを開発する等、保有するコンテンツやノウハウを最大限活用してまいります。

また、当社は平成25年10月1日に連結子会社9社を吸収合併いたしますが、これを契機として、グローバル戦略、IP戦略、デジタル戦略を一段と加速してまいります。

当社は変化の激しい経済環境のなか、さらなる成長を目指して、事業構造の改革や新規事業への積極的な進出を行なってまいります。このため、短期的視点で企業活動の動向を見極めることは困難と判断いたしました。そのため、平成26年3月期の連結業績予想は、合理的な算定が出来ないため記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,174	19,316
受取手形及び売掛金	43,218	39,723
有価証券	—	301
たな卸資産	14,223	15,043
繰延税金資産	4,517	4,153
その他	3,219	2,716
貸倒引当金	△91	△88
流動資産合計	83,262	81,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,979	6,857
工具、器具及び備品（純額）	1,547	1,518
土地	10,497	10,473
その他（純額）	565	591
有形固定資産合計	19,590	19,440
無形固定資産		
のれん	642	580
その他	2,685	2,743
無形固定資産合計	3,327	3,324
投資その他の資産		
投資有価証券	24,064	25,313
繰延税金資産	469	474
その他	9,473	9,781
貸倒引当金	△288	△297
投資その他の資産合計	33,718	35,272
固定資産合計	56,636	58,037
資産合計	139,898	139,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,674	17,300
短期借入金	55	60
未払法人税等	961	579
賞与引当金	1,568	714
返品調整引当金	3,886	3,845
その他	9,123	8,516
流動負債合計	35,270	31,017
固定負債		
新株予約権付社債	11,000	10,340
長期借入金	339	356
繰延税金負債	2,195	3,145
退職給付引当金	2,716	2,780
その他	831	797
固定負債合計	17,082	17,419
負債合計	52,353	48,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,330	26,330
資本剰余金	27,375	27,375
利益剰余金	34,787	34,560
自己株式	△3,932	△3,178
株主資本合計	84,561	85,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,248	6,074
土地再評価差額金	△328	△328
為替換算調整勘定	△2,052	△1,274
その他の包括利益累計額合計	1,867	4,472
少数株主持分	1,116	1,207
純資産合計	87,545	90,768
負債純資産合計	139,898	139,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	40,022	35,775
売上原価	29,050	25,550
売上総利益	10,971	10,224
返品調整引当金戻入額	3,908	3,869
返品調整引当金繰入額	3,964	3,845
差引売上総利益	10,916	10,248
販売費及び一般管理費	8,531	8,306
営業利益	2,384	1,941
営業外収益		
受取利息	21	9
受取配当金	100	157
負ののれん償却額	20	20
持分法による投資利益	42	169
受取保険金	112	7
物品売却益	49	46
その他	19	13
営業外収益合計	365	425
営業外費用		
支払利息	32	32
為替差損	—	22
その他	1	1
営業外費用合計	34	56
経常利益	2,715	2,310
特別利益		
持分変動利益	115	—
その他	0	—
特別利益合計	116	—
特別損失		
固定資産除却損	5	4
減損損失	—	23
投資有価証券評価損	748	342
会員権評価損	9	—
特別退職金	14	5
その他	7	—
特別損失合計	785	376
税金等調整前四半期純利益	2,046	1,933
法人税等	836	868
少数株主損益調整前四半期純利益	1,209	1,065
少数株主利益	11	33
四半期純利益	1,198	1,031

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,209	1,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△220	1,826
為替換算調整勘定	483	779
持分法適用会社に対する持分相当額	34	56
その他の包括利益合計	297	2,662
四半期包括利益	1,506	3,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,459	3,636
少数株主に係る四半期包括利益	47	91

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。